

鳥取県における保育士等需要の将来推計

[1] 就学前児童数の推移及び将来推計

(単位：千人)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
0歳	5.295	5.043	5.108	4.997	4.957	4.861	4.603	4.882	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
1歳	5.388	5.256	4.877	5.089	4.952	4.942	4.730	4.575	4.5	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
2歳	5.368	5.366	5.150	4.864	5.077	4.930	4.894	4.702	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0
3歳	5.574	5.338	5.327	5.165	4.815	5.068	4.877	4.856	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
4歳	5.439	5.580	5.261	5.327	5.140	4.806	5.077	4.867	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
5歳	5.414	5.405	5.601	5.242	5.286	5.126	4.907	5.076	5.0	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.2	4.1	4.0
計	32.478	31.988	31.324	30.684	30.227	29.733	31.081	30.751	28.5	27.8	27.2	26.8	26.3	25.7	25.1	24.6	24.0

<主な変更点>

・H23 推計人口
発表による時
点修正

- 1) 太線内 (H16 ~ H23) は、鳥取県の各歳別推計人口(各年10月1日現在)
- 2) 計 (H32) は「日本の都道府県別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所：H19年5月推計)」の「0～4歳」に5分の6を乗じて算出
- 3) 各年齢の推計値 (H24 ~ 31) は H23 と H32 の年齢毎に単年当たりの減少率を減じて算出

[2] 保育所・幼稚園入所率（各年度3月1日時点）の推移及び将来推計

パターン1 H23. 3月の入所率で固定し、推計

(単位：%)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
0歳	21.3	22.9	22.6	25.2	26.4	26.4	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6
1歳	39.6	41.6	45.7	43.9	46.9	48.7	50.7	50.7	50.7	50.7	50.7	50.7	50.7	50.7	50.7	50.7	50.7
2歳	48.5	49.8	52.9	56.1	55.9	59.7	59.9	59.9	59.9	59.9	59.9	59.9	59.9	59.9	59.9	59.9	59.9
3歳	89.0	91.8	90.3	95.0	98.7	91.3	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1
4, 5歳	99.7	98.8	99.4	99.8	100.0	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<主な変更点>
 ・各年度とも、最も入所率が高い3月1日時点の入所率を採用。(10/1 時点→3/1)
 ・1歳児と2歳児を分離し、より正確に推計。

1) 太線内(H16～H22)は実績

パターン2 1歳児と2歳児について増加分を見越し、平成24年3月時点(推計)の入所率が将来にわたって続くものとして推計。

(単位：%)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
0歳	21.3	22.9	22.6	25.2	26.4	26.4	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6
1歳	39.6	41.6	45.7	43.9	46.9	48.7	50.7	53.7	53.7	53.7	53.7	53.7	53.7	53.7	53.7	53.7	53.7
2歳	48.5	49.8	52.9	56.1	55.9	59.7	59.9	63.9	63.9	63.9	63.9	63.9	63.9	63.9	63.9	63.9	63.9
3歳	89.0	91.8	90.3	95.0	98.7	91.3	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1
4, 5歳	99.7	98.8	99.4	99.8	100.0	100.0	99.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<主な変更点>
 ・確実性を重視し、H22年度とH23年度を比較し、明らかに伸びている1歳児及び2歳児について増加分を見越して推計。

1) 太線内(H16～H22)は実績

[3] 入所児童数（各年度3月1日時点）の推移及び将来推計 [1] × [2]

パターン1

H23. 3月の入所率で固定し、推計

(単位：千人)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
0歳	1.129	1.156	1.155	1.257	1.310	1.283	1.453	1.543	1.52	1.49	1.45	1.42	1.39	1.36	1.33	1.30	1.26
1歳	2.131	2.187	2.228	2.234	2.322	2.409	2.398	2.320	2.28	2.23	2.23	2.18	2.18	2.13	2.08	2.08	2.03
2歳	2.604	2.674	2.723	2.730	2.838	2.945	2.931	2.816	2.76	2.70	2.70	2.64	2.58	2.52	2.52	2.46	2.40
3歳	4.960	4.899	4.811	4.906	4.751	4.625	4.689	4.667	4.61	4.52	4.42	4.32	4.23	4.13	4.04	3.94	3.84
4歳								4.867	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
5歳	10.817	10.848	10.796	10.548	10.431	10.281	9.958	5.076	5.0	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.2	4.1	4.0
計	21.641	21.764	21.713	21.675	21.652	21.543	21.429	21.289	20.97	20.44	20.10	19.66	19.28	18.84	18.37	17.98	17.

パターン2

1歳児と2歳児について増加分を見越し、平成24年3月時点(推計)の入所率が将来にわたって続くものとして推計。

(単位：千人)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
0歳	1.129	1.156	1.155	1.257	1.310	1.283	1.453	1.543	1.52	1.49	1.45	1.42	1.39	1.36	1.33	1.30	1.26
1歳	2.131	2.187	2.228	2.234	2.322	2.409	2.398	2.457	2.42	2.36	2.36	2.31	2.31	2.26	2.20	2.20	2.15
2歳	2.604	2.674	2.723	2.730	2.838	2.945	2.931	3.000	2.94	2.88	2.88	2.81	2.75	2.68	2.68	2.62	2.56
3歳	4.960	4.899	4.811	4.906	4.751	4.625	4.689	4.667	4.61	4.52	4.42	4.32	4.23	4.13	4.04	3.94	3.84
4歳								4.867	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
5歳	10.817	10.848	10.796	10.548	10.431	10.281	9.958	5.076	5.0	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.2	4.1	4.0
計	21.641	21.764	21.713	21.675	21.652	21.543	21.429	21.61	21.29	20.75	20.41	19.96	19.58	19.13	18.65	18.26	17.81

【パターン1及びパターン2共通】

- 1) 太線内(H16～H22)は、保育所入所児童数(福祉行政報告例(各年度3月1日現在)と幼稚園園児数(学校基本調査(各年5月1日現在))の合計(実績値)
- 2) H23以降の数値は、年齢別将来推計人口[1]に保育所等入所率の将来推計値[2]を乗じて算出

[4] 保育士・幼稚園教諭需要の将来推計

パターン1

H23. 3月の入所率で固定し、推計

(単位：人)

		*国の配置基準(1歳児については4.5:1)による算出	H21年度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			4月	3月										
クラス担当職員	0歳	〔児童：保育士 0歳児 3:1 1歳児 4.5:1 2歳児 6:1 3歳児 20:1 4歳児 30:1 5歳児 30:1〕	208	428	514	507	497	483	473	463	453	443	433	420
	1歳		487	535	516	507	496	496	484	484	473	462	462	451
	2歳		447	491	469	460	450	450	440	430	420	420	410	400
	3歳		226	231	233	231	226	221	216	212	207	202	197	192
	4歳		170	171	162	160	157	153	150	147	143	140	137	133
	5歳		170	172	169	167	160	157	153	150	147	140	137	133
	計		1708	2082	2063	2032	1986	1960	1916	1886	1843	1807	1776	1729
クラス担当以外(園長、フリー、加配等)			1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579
合計 A			3287	3661	3642	3611	3565	3539	3495	3465	3422	3386	3352	3308
定年・早期退職者数(A×4.1%) B					149	148	146	145	143	142	140	139	137	136
前年度末保育士・幼稚園教諭数 C = (前年度A - 前年度B)					—	3493	3463	3419	3394	3352	3323	3282	3247	3215
年間の新規雇用必要数 A - C					—	118	102	120	101	113	99	104	105	93
県内養成施設での養成数(保専50,鳥短120,鳥大10)						180	180	180	180	180	180	180	180	180
県内・県外養成施設卒業生の県内保育所・幼稚園就職者数(推計)			県内養成施設卒業生(必要数)		71	55	73	54	66	52	57	58	46	
			県外養成施設卒業生		47	47	47	47	47	47	47	47	47	47

- 1) H21年度4月及び3月クラス担当職員は、それぞれの時点の実入所児童数を配置基準により算出。
- 2) H21年度の保育所保育士(H21県調査結果の有資格者を全保育所数で割り戻して算出)及び幼稚園教諭の人数から、国の配置基準(1歳児については4.5:1)から算出したクラス担当以外の職員(園長、副園長、フリー、加配のほか単純計算による誤差分を含む)を1579人と推計し、児童の人数にかかわらず継続し一定人数必要なものとして算出。
- 3) 定年・早期退職者の割合は、H21年度県保育士調査から正職員の定年・早期退職者の割合。非正規職員についても同率での完全退職者があるものとして推計。
- 4) 県外養成施設卒業生の県内保育所・幼稚園就職者数(47)は、近年の資格取得者の保育所・幼稚園就職者が減少傾向(全国)であること、県内において、年により変動があることから、H20～22年度の平均数47.7の少数点以下を切り捨てて算出。
- 5) 県内養成施設卒業生の県内保育所・幼稚園就職者数(必要数)は「年間の新規雇用必要数」 - 「県外養成施設卒業生」により算出。

パターン2

1歳児と2歳児について増加分を見越し、平成24年3月時点(推計)の入所率が将来にわたって続くものとして推計。

(単位：人)

		*国の配置基準(1歳児については4.5:1)による算出	H21年度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			4月	3月										
クラス担当職員	0歳	〔 児童：保育士 0歳児 3:1 1歳児 4.5:1 2歳児 6:1 3歳児 20:1 4歳児 30:1 5歳児 30:1 〕	208	428	514	507	497	483	473	463	453	443	433	420
	1歳		487	535	546	538	524	524	513	513	502	489	489	478
	2歳		447	491	500	490	480	480	468	458	447	447	437	427
	3歳		226	231	233	231	226	221	216	212	207	202	197	192
	4歳		170	171	162	160	157	153	150	147	143	140	137	133
	5歳		170	172	169	167	160	157	153	150	147	140	137	133
	計		1708	2082	2124	2093	2044	2018	1973	1943	1899	1861	1830	1783
クラス担当以外(園長、フリー、加配等)			1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579	1579
合計 A			3287	3661	3703	3672	3623	3597	3552	3522	3478	3440	3409	3362
定年・早期退職者数(A×4.1%) B					152	151	149	147	146	144	143	141	140	138
前年度末保育士・幼稚園教諭数 C = (前年度A - 前年度B)					—	3551	3521	3474	3450	3406	3378	3335	3299	3269
年間の新規雇用必要数 A - C					—	121	102	123	102	116	100	105	110	93
県内養成施設での養成数(保専50,鳥短120,鳥大10)					180	180	180	180	180	180	180	180	180	180
県内・県外養成施設卒業生の県内保育所・幼稚園就職者数(推計)			県内養成施設卒業生(必要数)		74	55	76	55	69	53	58	63	46	
			県外養成施設卒業生		47	47	47	47	47	47	47	47	47	47

*説明はパターン1に同様

保育士等需要の将来推計に係る考え方

1 データの採用時点

- ・一年を通じて最も保育所入所率が高くなる3月1日時点のデータを用いて算出。
- ・【推計パターン1】最新（平成23年3月時点）の入所率が将来にわたって続くものとし、固定して推計。
- ・【推計パターン2】平成22年度と平成23年度を比較し、年度当初から明らかに増えている1歳児と2歳児について増加分を見越し、平成24年3月時点の入所率が将来にわたって続くものとして推計。その他の年齢は平成23年3月時点。

<背景>

- ・経済状況が大きく破綻したといわれるリーマン・ショックからよそ3年が経過。今後の経済状況等が不透明。
- ・国における育児介護休業法の改正（平成22年6月施行）や、行政・企業の取組により男性も含めた育児休業取得しやすい環境づくりが進められつつある。

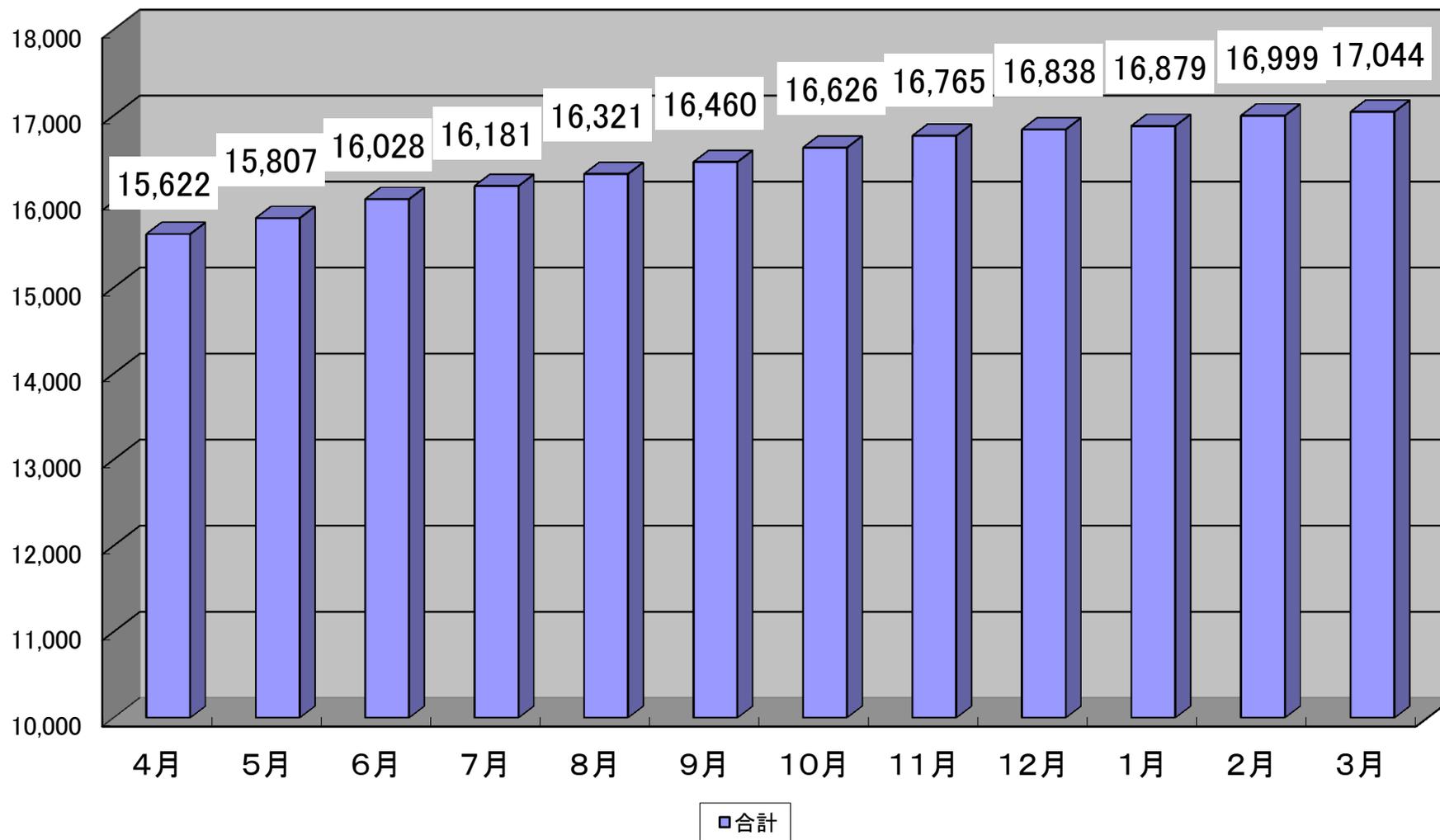
2 「子ども・子育て新システム」との関係

- ・国で検討中の新システム（1月末にも成案がまとめられ、次期通常国会に関係法提案予定。25年度からの実施をめざす。ただし、システムに係る追加財源については税と社会保障の一体改革とセット。）において、「総合こども園」で学校教育と保育を担う職員（「保育教諭」（仮称））に関しては、次の事項が今後検討される予定。
 - ①幼児教育、保育機能の充実のため、3歳児を中心に職員配置基準の充実。
 - ②保育士資格と幼稚園教諭免許の併有を原則。
- ①について
 - ・新システム施行に係る追加財源は税と社会保障の一体改革とセットで、追加投入1兆円のうち7千億円を消費税アップ分で賄う予定。平成26年4月消費税8%アップ、平成27年10月10%が検討されており、新システムに係る財源確保は早くても平成27年度以降と推察。
 - ・さらに、当面は待機児童対策として保育の量の確保にウエイトが置かれることが推測され、職員配置基準の見直しについては不確定。
- ②について
 - ・現在の幼保連携型認定こども園と同様の（3歳未満児：保育の提供、3歳以上児：学校教育及び保育の提供）の職務内容及び勤務体制が想定。総合こども園の開設は10%への消費税引き上げと同時で、平成27年度。保育所の移行期間は平成27年度から3年以内と検討。がは詳細については今後検討される予定。財政負担の増を伴う事項については上記と同様に実施について不確定。
- ・従って「子ども・子育て新システム」の検討状況については特に考慮に入れない。

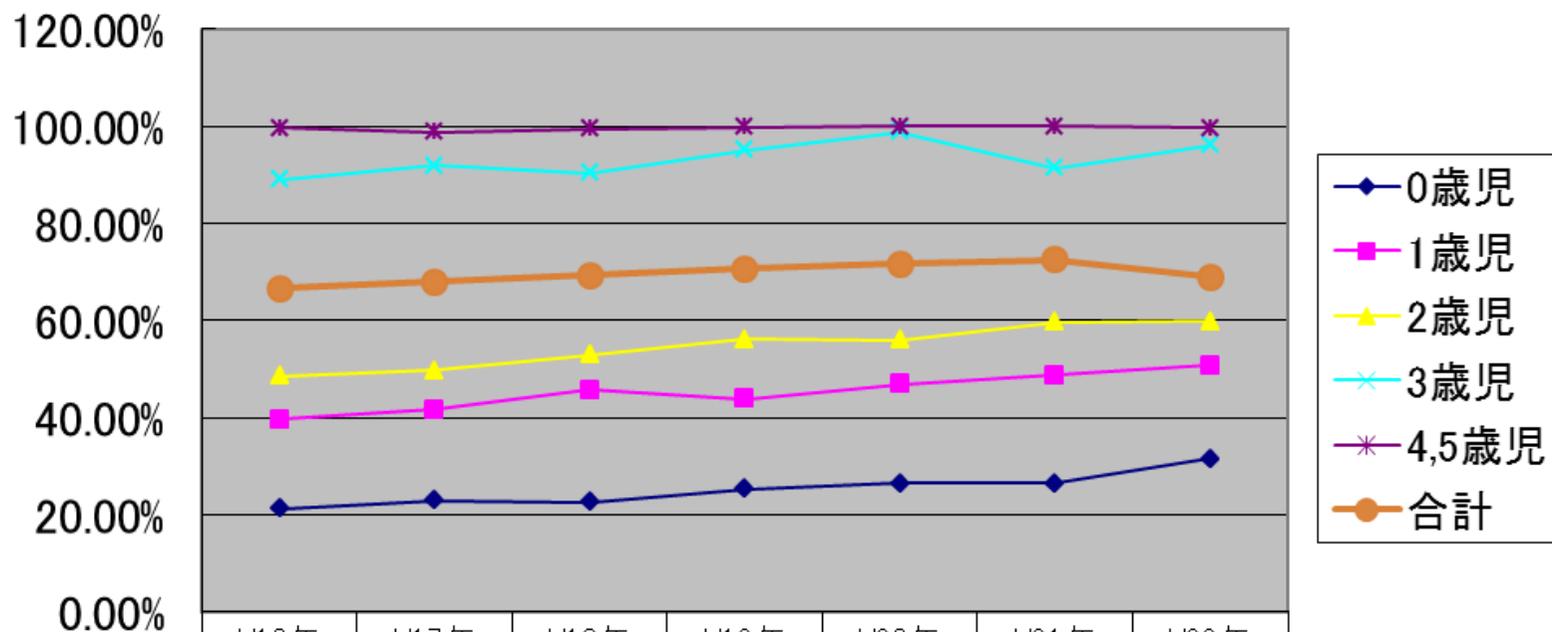
3 無資格者についての考え方

- ・平成21年県調査結果（調査時点）では、保育士の確保が困難なため、およそ190人の無資格者が保育所で働いている。各年度末にかけて無資格者の数がさらに増えていることが推察されるが、県内保育所での保育の質を高めるためにも、将来的に無資格者を減らしていく必要がある。
- ・このことから、在宅の保育士資格者を保育の現場に誘導し、保育士確保・無資格者の減少につなげるため、平成24年度に新事業実施予定。（保育士登録者へのアンケート調査を実施し、再就職支援のための研修、バンク登録につなげていく。）あわせて、年度途中の入所で必要な保育士の確保にも対応していく。

平成22年度保育所入所者数



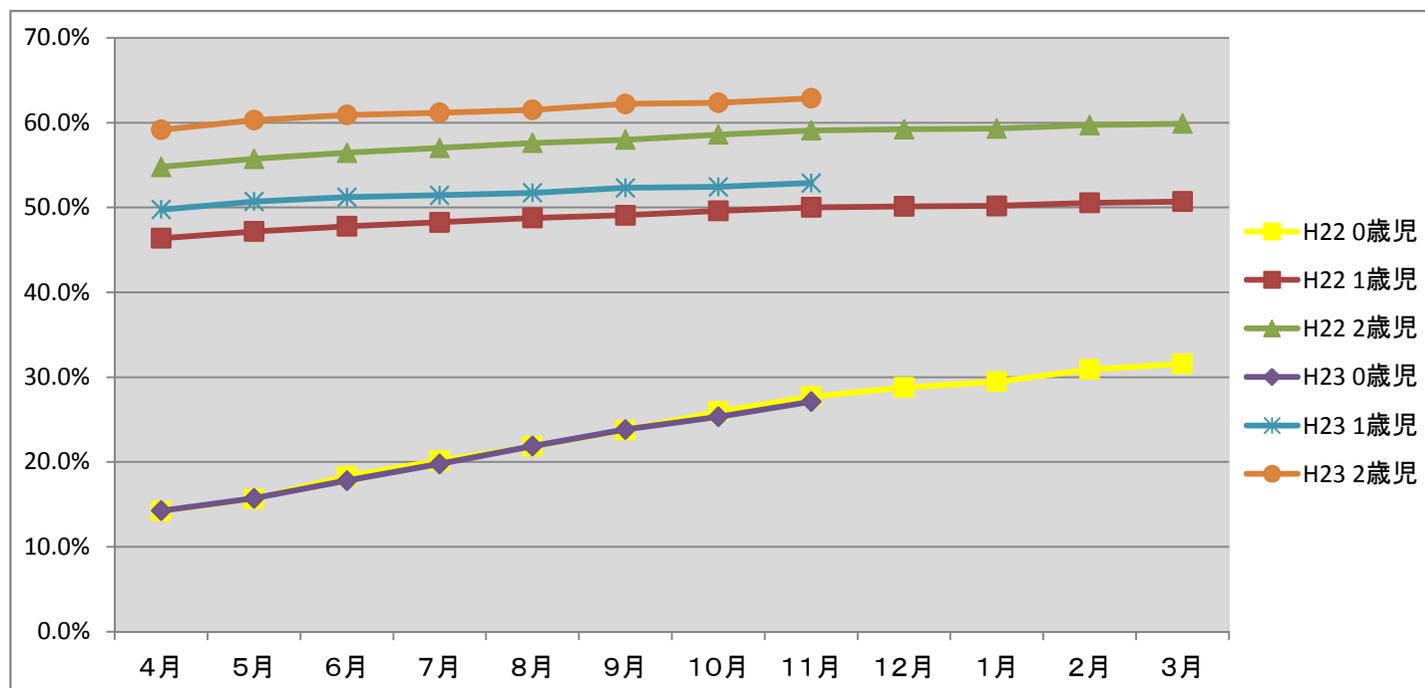
年齢別保育所・幼稚園入所率の推移



	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年
◆0歳児	21.30%	22.90%	22.60%	25.20%	26.40%	26.40%	31.60%
■1歳児	39.60%	41.60%	45.70%	43.90%	46.90%	48.70%	50.70%
▲2歳児	48.50%	49.80%	52.90%	56.10%	55.90%	59.70%	59.90%
✧3歳児	89.00%	91.80%	90.30%	95.00%	98.70%	91.30%	96.10%
✱4,5歳児	99.70%	98.80%	99.40%	99.80%	100.00%	100.00%	99.70%
●合計	66.60%	68.00%	69.30%	70.60%	71.60%	72.50%	68.90%

H22・H23入所率(0~2歳)の月別比較

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H22	0歳児	14.2%	15.6%	18.3%	20.2%	21.8%	23.8%	25.9%	27.7%	28.8%	29.5%	30.9%	31.6%
	1歳児	46.4%	47.2%	47.8%	48.3%	48.8%	49.1%	49.6%	50.0%	50.1%	50.2%	50.5%	50.7%
	2歳児	54.8%	55.7%	56.4%	57.0%	57.6%	58.0%	58.6%	59.1%	59.2%	59.3%	59.7%	59.9%
H23	0歳児	14.3%	15.7%	17.8%	19.8%	21.9%	23.8%	25.3%	27.1%				
	1歳児	49.8%	50.7%	51.2%	51.4%	51.7%	52.3%	52.4%	52.9%				
	2歳児	59.2%	60.3%	60.9%	61.2%	61.5%	62.2%	62.3%	62.9%				



指定保育士養成施設の定員及び保育所・幼稚園就職状況の全国推移

区分		H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
入学定員	大学	1,980	1,935	1,985	1,950	1,950	1,900	2,100	2,140	2,200	2,360	2,971	4,178	4,853	5,603	6,518	8,368	10,128	12,513	14,213	15,975	16,710
	短大	23,700	23,930	24,000	23,830	23,330	23,075	22,865	22,945	22,825	22,855	22,845	23,295	23,295	24,400	25,825	26,530	28,595	31,220	32,785	32,085	31,165
	専修学校	4,130	3,800	3,730	3,690	3,790	3,890	4,090	4,100	4,130	4,530	4,790	4,800	5,290	5,690	6,025	6,315	6,695	7,277	7,247	7,367	7,127
	その他	1,840	1,990	1,940	1,840	1,840	1,780	1,670	1,670	1,590	1,270	790	670	460	410	310	260	260	260	260	180	70
	合計	31,650	31,655	31,655	31,310	30,910	30,645	30,725	30,855	30,745	31,015	31,396	32,943	33,898	36,103	38,678	41,473	45,678	51,270	54,505	55,607	55,072
保育所・幼稚園就職者数		19,333	20,079	21,415	21,288	20,651	20,955	20,618	21,366	20,865	21,010	21,654	22,646	24,107	25,765	27,359	28,834	29,081	27,792	26,282	25,802	#REF!

